

第2回 淀江IC周辺用地活用検討委員会 議事録

1. 日時：令和5年5月29日 15:00～16:45
2. 場所：大山町役場大山支所 会議室1
3. 出席委員：11人（欠席6人）
4. 議事概要：下表に示す

事務局（進行役）	1. 開会 まだA委員来られるということでご連絡はいただいているんですが、ちょっとまだお見えになっていないようでして。ただ定刻になりましたので、ただいまより、第2回淀江IC周辺用地活用検討委員会を開催したいと思います。第2回に当たりまして、開催の方が大変遅くなっております。大変申し訳ありませんでした。以後このようなことがないようにしたいと思います。すみません。申し訳ございませんでした。
事務局（進行役）	2. 開会挨拶 それでは、開会のご挨拶を会長の方より申し上げます。
会長	はい。着席のまま失礼します。今日は大変足元の悪く出にくい所を、ご出席いただきましてありがとうございます。先ほど事務局から開催、間が空いたということでお詫びがありましたけれども、前回12月19日のことでございまして、確かにかなり間が空きました。この全体の検討スケジュールも若干そういうことで後ろに押されていった感がありますが、全体の会議、回数的にはかなり限定されたものがありますので、一つの会議ごとに大きく話のフェーズがジャンプする感がございますので、今日は後ほど前回の会議のおさらいもありますので、その辺思い起こしていただきながら次のステップの議論を進めていただければと思っております。それから、前回、初回ご欠席で、今回初めて出ていただいておられる方につきましては、途中から飛び乗りで議論していただくことになりますけれども、まず最初にこの際、簡単に自己紹介いただいてから議事に入っていたらどうかと思いますが、いかがでしょうか。お願いできますでしょうか。
委員	ちょっと着席で。ここにありますが、この地域、所子地区の地域自治組織の会長をさせていただいております、〇〇と言います。顔ぶれを見させていただくと、3分の1くらいはご存じの方が、いらっしゃるので、まあ初めてではないかなという風には、の方ではないかなという風に思っております。実はお話は聞いておりました。こういった趣旨の会合があるということ伺っておりましたが、ちょっと手違いですね、どうも地域自治組織の住所宛に開会のお知らせが来てましたようですが、ちょっと私の手元に来なくてですね。ちょっと封書ごとどっかに紛失しちゃったのではないかと。まことにすみません。でもって、いつされるんだろうということがわからなくて欠席ということになって

委員	ます。だいたいどのようなことをお話しされるものがあるかっていうことだけは、ぼんやりとは聞いておりましたので、そういう意味では、お話の内容、例えば今回初めて聞くぞというような内容がありまして大丈夫ではないかなという風に思っております。軽く自己紹介ということでしたので、名前は言いましたが、住所、住んでるのはこの所子地区の一番上側、上側になります。神原という地区に住んでおります。簡単に言えば…どこですかね。川を超えますと工業団地がある、風車が見えるあの辺りです。最近定年で会社を退職いたしました、くらいの年齢でございます。よろしくお願いします。 すいません、こちら着座にて。私も、地域自治組織まちづくり大山の会長をしております〇〇と申します。私は、〇〇会長より上の方に住んでおります。前回ちょっとコロナの関係で濃厚接触者になりまして、ちょっと参加するつもりだったんですけども、またみなさんにご迷惑をかける訳にはならないということで欠席をさせていただきました。で、その後通るたびにあそこの土地どうしようかなどうしようかななんて言って考えております。道路は近いのはいいんですけども、やはり色んなもの作るにしても、道路から車が見える、音が鳴るっていうのを考えながら色々と、色んな人にアイデアを貰いながら進めていけたらいいかなという風に思っております。これいい、っていうのはなかなか出ないと思うんですけども、みなさんでですね、いい知恵を出し合って、少しでもあの土地が有効活用でき、なおかつ先々、5年先10年先に負の産物作っちゃったよね、って言われないような形で進めていけたらいいかなという風に思います。よろしくお願いします。以上です。
委員	失礼します。西部総合事務所の、観光商工課の〇〇と申します。前回、第1回はですね、〇〇という者が参加させて頂きました。4月の異動でですね、私、難波と申しますが、委員として参加させていただきますので、どうぞよろしくお願いします。こちら西部地域の観光ですとか商工をですね、担当させていただきますので、そういった立場で、色々と皆さんからご意見いただきたいですね。こちらで何か意見等ですね、発言させてもらえたらと思います。どうぞよろしくお願いします。
委員	失礼いたします。農協の大山支所の、今日は本当は所長、〇〇所長が出席する予定だったんですけども、ちょっと用事がございまして、代わりに私中田が今日は出席させていただきます。普段は農協大山口支所の共済の方におります。どうぞよろしくお願い致します。以上です。
委員	失礼いたします。米子市役所淀江振興課の〇〇と言います。今日は支所長の中久喜の方が所用がございましたので、代理で今日は参加させていただいております。よろしくお願いします。

委員	失礼します。大山町役場企画課の〇〇と言います。私も人事異動の関係でこの度からこの委員会の方に参加させていただくことになりました。どうぞよろしくお願い致します。
会長	はい。それでは事務局に返します。お願いします。
事務局（進行役）	はい。それでは開会のご挨拶は先ほど済んだということで、させていただきたいと思います。 それではレジュメの方に従いまして進めさせていただきたいと思います。 本日の会議予定になっております。本日の会議内容といたしましては、まず前回会議のおさらいということで、させていただきたいと思います。前回の宿題といたしましては、サイクリングターミナル・サイクリングロード、道の駅の整備事例、官民が連携した開発事例、脱ガソリン車スタンドの整備状況の報告、などを宿題として頂いております。そしてそれらを踏まえたディスカッションを今回は予定しております。ディスカッションにつきましては、活用地のコンセプトについて話し合いたいと考えております。めくっていただきまして、本日の資料ですが、レジュメの方、第2回会議資料ということでお手元の方にあると思います。あと以下ですが、事前にお配りさせていただいておりますが、参考資料の1から参考資料の5までお送りさせていただいております。本日、お手元の方にお持ちでない方もいらっしゃるかと思います。場面を見ながら画面の方に映させていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。
会長	3. 議事 お手元の資料、揃っておられるかと思いますけども、もしそうでなければ事務局に連絡していただければと思います。それでは議事に入りたいと思います。事務局から更に議事について、説明をお願いします。
事務局（進行役）	はい。それでは議事1として、前回会議のおさらいをしたいと思います。まず前回会議ですが、委員の自己紹介から始まりまして、委員会設置要領の承認、それから会長を選出いたしました。そして議事といたしまして、検討委員会の目的、それから基礎情報、それから活用方法、今後のスケジュール等を行いました。めくっていただきまして、前回のおさらいということで、本会議の目的ですが、本会議の目的は、多様な意見やアイデアを伺い、実行可能な活用の方向性を取りまとめ、上位部署等へ提言することを目的と致しております。続きまして、対象位置でございます。対象位置ですが、皆さんよくご存じかとは思いますが、淀江インターチェンジに近接しております、約3.8ヘクタの敷地となっております。ほとんどが大山町の土地ではありますが、一部米子市の住所も存在しております。めくっていただきまして、前回のおさらいで、スケジュールとなっております。本会議のスケジュールですが、若干申し訳ございません、開催が遅れ気味になっております。すみません。最終会議を7月以

降とさせていただきたいと考えております。最終の会議につきましては、活用の方向性を取りまとめていきたいと考えております。めくっていただきまして、活用方法の意見として、大きく分けると8つございました。まず、サイクリングロードの拠点、それから道の駅、それからゼロカーボン社会に向けて何かできないか、めくっていただきまして、民間企業を誘致してはどうか、それから大山町の観光魅力・特産品のPRの場としてはどうか、続いてスポーツ・アスレチック公園としてはどうか、それから住居の拠点としてはどうか、それから福祉施設を誘致してはどうか。という主な大枠としては、以上8つ出てきたことになっております。めくっていただきまして、ディスカッションにつきまして、お手元の参考資料1ということで、お配りしているかと思いますが、コンセプトが明確でないので議論が発展しないのでは、コンセプトの設定においてはとんがったものがないのでは、あとはターゲットについては町民、県民、県外者それとも外国人、というようなご意見もありました。めくっていただきまして、あと国立公園内では規制されてるアクティビティを体験できるようなものとか、サイクリングとか他のアウトドア体験をするもの、大山ブランドの満喫、というような大山町にないものを作ってはどうか、というようなここでしかできないことが体験できる場にしようというご意見がございました。続きまして、国立公園内で規制されているアクティビティを体験できる場にしてはどうかということで色々な意見がありました。規制事項といたしまして、大山圏域ではできませんが、淀江インターの辺ではできるんじゃないかというようなご意見がありました。続きまして、サイクリングの拠点整備にしてはどうかというご意見がありました。拠点整備に必要な整備といたしましては、24時間休憩できる場所であったり、トイレ、宿泊機能、情報発信、緊急時のサポート環境、飲食等が必要ではないかということになります。先進事例につきましては、以前参考資料としてお配りしておりますので、またご覧ください。続きまして、その他アウトドアの色々なことができるのではないかと、ということでアウトドアを体験する場ではどうかというご意見がありました。山から屋外全般、雪上、水上、海、空、野営場など、色々なことが挙げられておりました。例えばですね、民間企業と連携いたしまして、滞在型のアウトドア・サイクリングの拠点整備というような方向性も考えられます。事前にお配りしております参考資料をご覧ください。色々な道の駅や官民連携の開発がされているのをご覧ください。続きまして、大山ブランドを満喫するということで、ここでしか体験できないものの一つに大山ブランドが満喫できるような場という意見がございました。大山ブランドといたしまして、主に食が挙げられるかと思いますが、大山宝和牛とか、大山芳醇豚、大山ハーブチキン等、色々なものが挙げられておりました。それから、めくっていただきまして、前回のディスカッションにおきまして、インパクトのあった意見といたしまして、大山牛のテーマパーク、牛の駅というようなアイデアがございました。大変面白いアイデアではないかなということで考えております。それから続きまして、大山町にないものを整備してはどうかというようなご意見があ

	りました。大山町にない、少ないものということでは、飲食店が少なかったり、海沿いに宿泊施設がなかったり、あと観光地ですね、特に海沿いの方駐車場がなかったり、あとはお土産になるような名物のお菓子がなかったり、というようなご意見もございました。以上が、ざっとではありますが前回のおさらいとなっております。詳しくは、議事録等ホームページに公開しておりますのでご覧いただけたらと思いますし、お配りした資料をご覧になっていただけたらと思います。
会長	前回の会議で出た意見をキーワードを辿るような形でさらっと見ていただきましたけれども。そういうことを思い返していただきながら、本日のディスカッションをしていきたいと思っております。本日は今まで出てきた、あるいは今日初めて出る意見もウェルカムですけれども、そういったことも含めて、どのような打ち出しで、コンセプトとして、この淀江インターの隣にある3.数ヘクタールの土地を活用していくイメージを作っていくのかという議論に移りたいという風に思っておりますけれども。このコンセプトの設定について、事務局の方から説明をお願い致します。
事務局（進行役）	はい。議事の方の2番目といたしまして、ディスカッション、これから議論の方させていただきます。コンセプトということを設定出来たらという風に考えております。なかなかコンセプトといたしましても一概にはなかなか難しいことがあります、色々なご意見を踏まえながら決定していきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。それで、進行に当たりましては事務局の補助をしております方をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
事務局補助	そうしますと、事務局の補助ということで、私どもの方で展開をさせていただきます。まずコンセプトと言いますのは、いわゆる概念ということ、基本的な考え方や統一的な視点とか軸というようなことを示しております。コンセプトに似た概念といたしまして、テーマというものがございます。テーマは主題、伝えたいことということでございます。従いまして、コンセプトとはテーマありで決めていくもの、ということになります。今回で言いますとこのテーマは淀江IC周辺用地について、地域特性を活かした整備を行い、周辺地域の活性化を図る、ちょっと堅苦しいですが、そういうことがテーマということになると思います。次にコンセプトの設定といたしましては、誰に何を提供するかということに絞りたいと思います。地域特性と課題、目指すべき姿を踏まえ、これを整備していくということが、課題解決型の手法という風に考えております。
事務局（進行役）	ありがとうございます。以上の考え方を元にですね、事務局の方で前回の議論を踏まえましてコンセプトについて、事務局側である程度形にしたものを説明

事務局補助	を致したいと思います。 これから、コンセプトを設定する上で、考え方、流れ、コンセプトのたたき台について説明させていただきます。現状と課題についてです。大山町には豊かな自然環境資源として、大山、日本海がございます。そこから生産される産物といったしましては、大山ブランドとして誇れる資源があります。また、大山寺や妻木晩田遺跡などの歴史文化の資源もございます。これらの資源を活用し、現在、大山を軸とした体験型広域観光を大山町として展開をなされています。しかしながら、人材の不足とか事業所の減少とか、多様化します消費者のニーズ等が今現在課題となっているところでございます。先ほどもご説明はございましたけれども、前回の委員会が出たキーワードといったしましては、大きく8つございました。サイクリングの拠点、道の駅、ゼロカーボン、民間企業誘致、観光魅力や大山ブランド、アウトドア・アクティビティ、住居拠点、福祉拠点、がございました。コンセプトを設定する視点、地域特性についてです。視点といったしましては、ここでしか体験できないこと、とんがった面白さ、体験・滞在型の観光拠点、脱炭素社会の対応、といった意見がございました。地域特性といったしましては、山陰道、国道9号などの主要幹線道路軸に近いということ、すぐ隣が米子市であること、豊富な自然環境や大山ブランドなど、豊富な資源がある、ということでございます。住居環境と福祉施設につきまして統合した考えで、7つのキーワードを概念図に整理してみました。それぞれ相互的に関連性があるのかなという風に考えております。以上を踏まえまして、コンセプトの設定を5つのステップで考えていきます。ステップ1、どのようなものをつくるか。ステップ2、何を柱とするか。ステップ3、どのような思いを込めるか。ステップ4、構想・目標。ステップ5、構想イメージのフレーズ化、言語化。の、流れで進めていきます。まずステップ1でございませう。どのようなものをつくるか、ではテーマの様なものとなりますが、大山、インター周辺地域を活用して、ツーリストのために大山観光の入口を作る、という設定をいたします。次に、ステップ2といったしまして、何を柱とするか、でございませう。7つのキーワードがございましたが、その中から社会テーマとなりますゼロカーボン社会、大山観光を主軸としましたアウトドア・アクティビティというものを抽出させていただきました。次に、ステップ3どのような思いを込めるかにつきまして。前回委員会で出ました視点やキーワード、課題により、とんがった面白さでここでしか体験できないことを民間企業と連携して提供する、という風に設定いたしました。次に、構想・目標でございませう。「大山町の豊かな自然環境やゼロカーボン社会に向けた取り組み、観光戦略を反映し、多様な体験ができる観光のゲートウェイ、サイクリング拠点としての用地の活用を目指します」と設定いたしました。これが、いわゆるコンセプトのたたき台ということになります。次にステップ5といったしまして、構想イメージのフレーズ化となります。ステップ4で設定いたしましたコンセプトを一言で説明できるフレーズというもので作成し、整備する姿が想像できるよ
-------	---

	うなものを考えていきたいというところでございます。今たたき台といたしまして3つのフレーズ案を提示させていただきました。一つ目、グリーンパーク～アウトドアスポーツや食をとおして、カーボンリサイクルが体験できる、大山観光への招待～でございます。続いて、牛の駅～町の食を提供する大山横丁を展開し、多彩な大山ブランドやここならではの大山ツーリズムを発信する～、3番目、お手軽アウトドア～観光DXを導入し、手ぶら感覚でアウトドアが体験できるようなアクティビティ拠点～として整備する。のようなたたき台を設定させていただきました。以上でございます。
事務局（進行役）	はい、ありがとうございます。なかなか難しい所ではあるかと思いますが、前回の色々なご意見を頂きまして、事務局の方でずっと練りに練ってですね、ステップ4のところにあります構想・目標というところを、これが一応コンセプト案、ということで前回の意見を踏まえた、と考えておりますが、十分に反映できているかということもありますし、また新たなご意見があるかと思うので、ご意見を頂けたらと思いますし。それからですね、ステップ4から派生しまして、ステップ5ですね、コンセプトをどう文章としてですね、キャッチフレーズとして分かりやすい、皆さんに分かりやすいように構想イメージを作っていくか、これも1本ではなくてもいいかと思いますが、色々なご意見を頂きながら事務局の方で練ってはみましたが、ご意見を色々頂けたらと思いますし、足りないところとか、新たな意見それからこれはいらないよという意見もあろうかと思います。色々なご意見を頂けたらと思っております。よろしくお願い致します。 ということで、一方的にこちらの方から説明をさせていただきましたが、なかなかすぐすぐにご意見を頂くのは難しいとは思いますが、何巡してもいいかと思しますので、とりあえずは前回と同じように席順くらいで、ステップ4のコンセプト、それからステップ5の構想イメージのフレーズについて色々なご審議いただけたらと思いますので、よろしくお願い致します。
会長	あの、それぞれご意見いただく前に、もう一度はつきりさせといた方がいいかなと思うんですけども、第1回の時にもご説明しましたが、ここでの議論っていうのはそもそも淀江インターのあの土地3.8ヘクタールは、大部分が大山町内に住所はあるものの大山町が所有している土地でもございません。人様の土地でございますので、大山町でこう決めてこう使う、予算こう付ける、ことで進むものではありませんで、むしろ持っておられる鳥取県あるいは関連するところの国土交通省といったところに、こういう土地はこういう風に使うと非常に良いよという打ち出しをしていく、それは役場でだけで考えていてもしょうがないので、やはり多くの地元の方の意見も踏まえて打ち出していくことが必要だということからこの議論が始まっております。で、ディティールはもちろん最終的に出来上がるところで重要になってくるのですが、そのディティールのイメージもしながら、ならば知事なり何なり、淀江インターはこういうこ

	とでやったらどうですか、町長これで行きましょう、っていうようなときのイメージとしてですね、ここで一つのコンセプトの案としてまとめていただいていますけども、こういうフレーズで打ち出していくということが、この限られた回数の委員会でできる成果物であるという風に考えておりまして、それで方向は色々な方向があると思いますし、それから重要な要素でやはり踏まえておくべきことは何かというのはフレーズ作っていく中で落としてはいけないというものはこだわっていただいても良いかと思います。一つに絞る必要はないというのは先ほど事務局の方からもありましたけれども、そういう様な作業を今日この場でできればなという風に考えております。で、ちょっと先走って今日終わった後どうするかということですが、こんなものがあつたらいいです、というところが今日までの話なんですけれども、そこから先は若干踏み込んで、そういうものは誰がどういう風に運営していくとうまくいくんだ、というような議論を次にする必要があるかなという風に考えておりますけれども、今日のところはこういうもの、というところをある程度たたいて、今日中に言葉としてまとまらないかもしれませんが、そここのところは事務局にお任せいただくことになるかと思いますが、色々たたける材料を出していただければということで、席順でも順不同でも結構でございますので、ご意見を頂ければと思います。どなたからでも結構です。よろしくお願いします。
事務局（進行役）	それでは席順ということで…ざっくばらんで結構です。
委員	ざっくばらんに、はい。そうですね、僕も前回牛の駅とかも提言させてもらった者として、その後も考えてこれしかないんじゃないのと勝手に思ったりもするんですけども。やっぱりまずどういうコンセプトかって言った時に、僕も色々この町の事業者さんとも接してる中で、どうしてもこういうアイデアって観光目線になるかなと思うんですけど、観光の最大の課題、大山町における地方の観光地の最大の課題って何か言って言ったら平日と休日の差がめちゃくちゃ激しいなっていうところがあるかなと思ってます。だからアウトドアとかサイクリングとかってパッと出てきやすいんですけど、それって多分実際動かすとですね、平日ほとんど来ないとか、結構問題はおつきいかなという風に、ちょっと聞こえはいいんですけど、実際平日の昼間からアウトドアする人ってそうそうやっぱりまだまだ少ないかなっていうなかでは、やっぱり僕としては何か年間通じて集客も安定してて色々な可能性あるというところでは食的なものが一番集客につながるのかなと思っています。で、この前御来屋のお魚センターの人とも話してたんですけど、結構お魚買いに御来屋に来るっていうのがよくよく考えてみたらどんどんあるんです。岡山とか大阪とか色んなところから来られるという話があつて。実は山陰道っていうのがすごく大きくって、山陰道で来てすぐには買える、だから境港に行かずに岡山の人が御来屋にお魚を買いに来ているっていうこともあつて、山陰道って岡山兵庫鳥取方面とか考えると非常にアクセスのいい場所でもあるなというところで、そこで何か食の拠点み

	たいなものが作れたらそれなりの集客見込めますし、大山町に限らず鳥取西部の食の入口みたいなところ、魚はちょっと先行事例があるんで、魚以外の食の拠点みたいな感じで置けると、大山町に限らず淀江とか米子のこっち側にも色々波及効果あるんじゃないかと思ってますんで、ちょっとまとまりがないですけれども。その場合平日にも色々地元の雇用が生まれるようなところも意識して考えていった方がいいかなというところなんで、あのアウトドアだけでなく平日お客さんが入るかどうかな、みたいなことと地元の雇用とかそういうのが生まれるかどうか、みたいなことを結構大事にしながら議論していくのがいいかなと思ってます。すいません、以上です。
委員	こんにちは。色々説明いただいたんですけども、結局のところ、この色々な設備は作るんだけど、人が集まらないよって、10年間経ったら人が来ない負の資産になっちゃうよってということが多分一番怖いんじゃないかなと思うんですよ。この今のアウトドアのアクティビティであるとか、大山ブランドの観光魅力だったりっていうのは分かるんですけども、それで一体どのくらいの人がこのICの周辺の土地に来てくれるのか。年間を通じてでも土曜日曜だけでもいいけども平日もやって、人がどれだけここに集客能力があるのか。そういったものが魅力があるような施設であれば特段に何がどうである必要はないと私は思ってるんです。先ほど言われたように魚市場でもいいし、観光施設でもいいしと思うんだけど、要するに人がここに集まってくれるっていうことが最大の目標じゃないかなと。それが売れるか売れないかはそこに店を出す人なり経営の問題になってくるので、それは別のこととして、とりあえず人がそこに集まってくる、そういったことを考えてやっていけばいいのかなという風には思いました。以上です。
委員	まず一つちょっとお伺いしたいのが、初めてなものでちょっと言葉がよく分かってない部分がありまして。今まさにそこに出てますが、観光DXっていうのは具体的に何を指しているのか。
事務局補助	観光DX、ちょっと今時の言葉でご紹介したところでございますけども、例えばインターネットを通じて、その大山インターを拠点としてそれぞれの場所を紹介したり、例えばGoogle等を…
委員	分かりました。あの、概念的なものは分かりました。DXってデータエクステンジっていう意味ということですよ。ですからそういう何か物を発信したり受けたりするような、言葉として私ここ出ましたゲートウェイという言葉が出てましたが、どちらかというとハブという言葉を使って、この山陰圏域にここからあっち行ったりこっち行ったりしていただけるような拠点にするというコンセプトは出てますんで、それでよろしいんじゃないかという風には思います。で、具体的にはそこに建物を建てるのではなくて、例えば出来合いの言

委員	葉でいきますと、車でそのまんま泊まれるオートキャンプ場みたいな形で、観光でやって来られた方がそこに泊まる、既存のホテルとか宿泊基地に泊まるとそれなりの出費もありますんで、来ていただいた方、そこでほぼ実費があんまり掛かんないくらいの所で一泊すると。今まで素通りしてた方がそこで泊まると。そこからまた別のアクティビティにアクセスできるといったような拠点で、例えば何にも建物がなくて、コンセントあるいはインターネットに繋がる何か、みたいなそういうインフラが整ってれば、若い人は一泊ぐらいするんじゃないのかなんていう風にも思ったりします。ですから、あとはそこに色々なものが出店していただくようなものも必要かとは思いますが、そういったものはまた別の方に色々考えていただいた方がいいのかなと。ちょっとお話を伺いながらそんな風にも思いました。あと、一つ私が思ったのは、以前から思ってたんですけども、まっさらな車が駐めれる場所にして、例えば島根原発がこと何かあった場合は、あちらからの避難者がぞわっと向こうの方に向かって走る一つのルートになるような、あの場所ですけども、そういった方々が1回そこで泊まれるような、何かのスペース的なものに使ってもいいのかなと。公共の土地であれば、あのまんま残土なのか何なのかが積んであるよりかは、何もしないけど、はるかにその方が意味合いがあっていいのかなんて言う風に前考えたこともありました。話がまとまってないですけど、以上です。 はい。私も皆さんと似たような意見で、色んな事がたくさん議題として出てるんで、その辺は精査していかないと多すぎて、これもいいよねこれもいいよねってことばかりじゃあ、会議あと1回で終わるんであれば、ある程度絞っていかないといけない、という風には思います。で、私も色々思ってた、実は私キャンプとか大好きで、いつも四国行きます。四国ほとんど無料です。で四国の仁淀川が好きで、仁淀川はここもSUPとか無料で遊んだり、途中もキャンプ場があってトイレがあって、電源はなかったんかな、だけど無料で使えると。結構そういうところ、有料で私キャンプに行ったことはほぼないですね。角島のキャンプ場は有料だったんで行ったんですけど、基本的に無料の所探して行って、そこで一泊して泊まってとかやっていてます。先週の土日も広瀬の山の中でやったりとかしてます。ここも一人200円だったかな、貯金箱みたいなのにお金入れて、トイレもあるし水もあるしっていう風な形で。 で、色々話をしてて最初はあの土地どうしたらいいだろうな、なんて話をしていたら、総合的な病院、色んな小児科、色んな病院があそこで先生方に建ててもらって、そうするだけで負担も町の方も少ない。で、総合的な病院ができれば大山町淀江、その辺の人も安心できるんじゃないかっていう風なのも思いました。ですけど、なかなかその土地だけ提供して先生があそこに病院建ててくれるかなって言ったら無理な話だよね、という風には思いました。私も場所的に、アクティビティが好きなんであれば使いたいなと思います。で、そこにキッチンカーでも来てですね、日中その時間帯だけでもいいんで、店とか箱もの建ててしまうとやっぱり維持費、先ほどもあったように5年後にその建物の老
----	---

	朽化、修繕等お金が掛かってくる。かと言って、その莫大にこのところで収益を上げるような事業も私はどうかなっていう風に思いますんで、ある程度の最低限の収入は必要かもしれないんですけども、ここで10年後に1000万溜まってその修繕にお金が使えよという風な形には厳しいんじゃないかという風に思ってます。地域の方がですね、本当に気軽にここで出店して、ちょっと売れなかったらもう撤退するわというような軽い気持ちでですね、リアカー引いて店売りをするような感じでもいいと思います。そういう風な形で地域の方がここら辺に持って来て、たくさんで過ぎたけん売りに来たわっていう風な感じであればいいのかなと思います。収益のことはちょっと別問題になってしまうんでなかなか難しいとは思いますが、できれば地域の方がここを活用していいねっていう風に言ってもらえるのがいいかなという風に思っております。本当私の他愛のない話で申し訳なかったですけども、まあ何らかの形で、全部ができるとは思えません。なかなか、いいことも書いてありますしこれをしようと思ったらすごいお金も掛かります。その負担というのがやはり大山町がするんだったら私たちの税金から出るんであれば、少しでもここは抑えたいなという風に思っております。その辺も精査していかないといけないかなという風に思っております。以上です。
事務局（進行役）	それでは…〇〇委員。
委員	はい、失礼します。色々まあ平日のこととか休日のこととか、色々難しいところがありまして。今回はこちらの立場で県のやるNCR、ナショナルサイクルルートを整備してるということで、そういった拠点ができると県の施策としてよく合致して、そこはもしそういった施設ができれば有効活用できるかなということでお話もさせていただきました。先ほど休日はそういった人でお客さんも多いけどやっぱり平日はどうかなという話もありまして。一つその道の駅というようなコンセプトもあると思うんですけど、特に例えば私が鳥取の方から車でですね運転して来ると、だいたい1時間ぐらいですかねしていると、ちょっと休憩したいなという風に思うんですよ。1時間とか2時間とか。そうするとちょうど琴浦の道の駅が位置的にはいい場所にあって、何が目的という訳ではないんですけどちょっと寄ってみようみたいな、気持ちになります。遠くからするとちょうどまっすぐ行った琴浦の場所がポイントになると思うんですけど、松江とかあっちの方から自動車道を使ってくる人は途中でそんな休憩できるようなポイントはあまりないのかなという意味で、平日利用の方が少ない中で近くに自動車専用道もありますので、そこを通る人も下に下ろしていくような、そんな何か施設と言いますかね、こっちと下に下りたいなというようなものがあるとちょっと下りてみて休憩してみて、そこで町の特産物とかであると、ちょうどPRになるようなそういった場所にもなるんじゃないかなということも今ちょっと考えました。ありがとうございます。

委員	前回もこの会議に出て自分の考えは伝えたと思うんですけども、ただコンセプトを考えると言った時に、すごく皆さんの意見っていうのがたくさんあって、じゃあこれがいいんじゃないかというのはなかなか選べられないというのが今の私の考えです。ただ、先ほど〇〇委員がおっしゃられたように、ハブ的な機能、っていうところ。これをコンセプトにしていけばいいのかなと。この施設だけで完結してしまうと非常にもったいないと。せっかく大山の魅力といったところを来られた方に伝えていく施設、というような感じを私はしました。なお、今道の駅の営業をしてる訳ですけども、非常に恵みの里とここは近いというところで、道の駅は必要じゃないんじゃないかなという風には私は思います。以上です。
委員	失礼します。前回出席はなかったんですけども、ちょっとだけ資料を見させてもらいまして、私も、D委員は道の駅は必要ないんじゃないかというお話だったんですけども、正直道の駅あってもいいのかなと。牛の駅って何かすごく面白いなと思いまして。やっぱり大山っていうと牛っていうイメージも非常に強いですし、我々は牛馬市場もありますので、そういったところで牛に携わると思いますか食に携わるような形で作っていったら面白いなという風には思いました。私も農協職員っていうのはあるんですけどもとにかく何か食に拘ったものがあるといいなという風に思っております。以上です。
委員	すみません。ハブ機能というところにすごく何か自分ピンとくるものがございまして、せっかくここに何か、ただここに寄ったからといってここで全て完結してしまっただけでは「大山町行ったことあるよ、あそこでしょ」っていうことで、それだけで全てを語られる施設にはしてほしくないなと。やはりここに、車で来られる方がおそらく前提となるとは思うんですけども、ここに車を置いてちょっとじゃあループバスに乗ってみようかとか、あと自転車乗ってみようかとか、ちょっと普通の公共交通機関バス乗って大山寺行ってみようかとか、何かのきっかけになるところだといいかなと。やはりあの、皆さんも言っておられたと思うんですけども、あんまりこうがいいんじゃないっていう指定してしまうんじゃなくて、来られる方使われる方のイメージを喚起するような何かがあれば広がりを持てるし、何かあったときの方向転換もしやすいんじゃないかというようには感じました。
委員	私も今日からの参加なんですけども、事務局が準備していただいた道の駅の資料なんかを見るとですね、その道の駅が旅の目的地になるというようなことが書いてあったりして、すごく大きな施設のことが紹介してあるんですけども、やっぱりそういった大きい施設を作ってしまうと、今後の維持管理が非常に大変になってくるので、やっぱりそういったものではなくって、何でしょう、あまり費用も掛からないけど先ほども皆さんが言われたようなハブになるような、自転車の活用にも繋がれるような、何かそう言ったあまり大きくない、そ

会長	ういった機能だけあるような施設になったらいいのかなという風には思いました。以上です。 今事務局の方で準備した資料への言及がありましたけど、宿題として資料が確かに準備されてますが、その中に何か改めて見てもらうといいなと思われる資料があるんじゃないかなと思いますけども。例えば先ほどの原発事故だのの時に一時退避する場所というような言及ありましたけども、防災拠点としての施設というので、何か資料を頂いていたような気もしますが、そういうのも既にお目通しいただいてるかと思いますが、ちょっと簡単に紹介していただいたらどうでしょうか。まあ3.8ヘクタールってかなりのスペースでありますんで、色々使い方があるかと思いますが。
事務局（進行役）	ちょっと小さいですけど、事前にお配りしているかと思いますが、ちょっと画面の方に出して…
委員	あの、すみません。マイクがあつたから言いますけど。儲けも大事かもしれないですけど、私はとにかく人に来てほしいんですよ。そこでお金を落とす落とさないっていうのは別の話で、とにかく若い世代、色んな方がですね、そこに集まってもらって、そこで何か「楽しかったよね」って言うてもらえるような事業がしたいなと風に思ってます。で、先ほどもあつたように道の駅、色々あるんですけど、箱ものを作っちゃうと後が大変です。本当にあの、四角いプレハブみたいな感じのちょっと角いようなプレハブで、シャッター閉めてしまえるような感じで私はいいんじゃないかなと。それじゃあちょっと町が格好つかないからもうちょっとやりましょうやって形かもしれないんですけど、そこからスタートしてですね、あんまり箱ものにお金をかけずにそれだったらある土地、ここを有効に活用できるような整備の方にお金を使った方が私はいいと思います。で、先ほどもあつたようにハブの件なんですけど、その拠点に住民さんないしインストラクターの方がおられて、ここに行ったら5%割引になりますよっていう風な形で紹介をしていって、色んな店からPR用ではないんですけどそういう風な形で収益を貰ったりとか、色んな形でそこで色んなことを聞くとその大山町ひいては鳥取県、色んな所とコンタクトが取れるよって形になればですね、ものすごいいいことじゃないかなという風には思います。すいません、勝手に言いました。
委員	はい、すいません。先ほど、サイクリングっていうフレーズがありましたので私もちょっと思い起こすことがありまして、今ちょっとお話をするんですが。鳥取砂丘のすぐ近くにサイクリングターミナルっていうのがあります。これは市がやっておられるのかな、非常に安価に泊られます。その横っちょに柳茶屋キャンプ場と、砂丘の、こどもの国のすぐ近くですけども、あそこね、無料なんですよ。休日すごいです。足の踏み場もないくらい人がキャンプしていま

会長	す。あ、シーズンはですよ。何が人を惹きつけるのかと。やっぱり安価にできるというところだと思います。来られてる方見ますと、観光のついでに、もあるんだろうとは思いますが、たいてい大阪とか岡山広島そういった車のナンバーがよく止まっています。私も実はアウトドアの関係をしている団体にしばらくおりましたものでですね、その柳茶屋キャンプ場っていうのは1ヵ月に一度はそこでキャンプしていたみたいな時期がありましたものでですね、割と存じ上げておりますけども、例えばそこからおそらく見てると、キャンプをしたりバーベキューをしたり自分らの目的とした活動をしつつ、鳥取砂丘に寄られて、あるいは近在のどこか観光地に行かれて、帰られるといったようなことをされてる方々かなという風にも思っておりましたが、そういった使い方に近いものがあったもいいのかなと。で、例えば大きな建物はないにしてもですね、何かしら事務所みたいなところに、例えば人がいて何かしらの情報ですね、近在の情報に対してアクセスできる、あるいはそこに行ったら何かしらおまけクーポンが貰えるみたいなものがあれば、もしかしたらそんなにコマーシャルしなくても口コミで「あそこ行くとお得よ」みたいな。そんなところがやっぱりいいんではないのかなという風に思ったりもしました。以上です。 投影してもらってますけど…あの、淀江インターの場所が鳥取県西部の中にあってどういう風に使えるのかというのを県がどういう風に考えられるのか全くよく分かりませんが、避難所であったりあるいは山陰道全体の維持管理上の防災上の何とかという位置づけとしていい場所なのかどうなのか、それから割と平たく土地が開けて取れる所で、何らかのヘリポートとかってあって日頃は他のことで使っていていいのか分かりませんが、そういうような土地としてもあり得るのかなと。で、そういう設定された中で、いくつか出てきた意見を踏まえると割と簡便な建屋のものを色んな人が色々使えるような展開でどうだろうかという。はたまた建物なくてもキッチンカーが毎週末色々集まってもいいんじゃないかみたいな、そんなお話があったような雰囲気漂っておりますけれども。その他あとは、そうは言いつつ常設的な施設はハブ機能を色々果たすようなことなのかなって。ハブはハブで観光で何か、観光としては大山町が大山で独占的ということであって鳥取県の西部のあの位置にあってということで機能することがあるのではないのかというような、そういうようなお話が各方面から伺った限りでは感じられましたけれども。やっぱりとは言いつつも、すみません、議長が自分の色々意見って色々言っちゃうんですけど、でも何かそこで面白いことがあった方が楽しくありませんかというところもありまして。大山寺高いんですけどそういうところに行ったらいつも増えるというのはなかなかいい所でありまして、何かそういう様なアイデアと組み合わせたいようなものかなというイメージを抱いた訳ですけども。そのほかナショナルサイクルルートですとかその辺との関係で、あの位置ということに何かネックなり課題、あるいは逆に素晴らしいアドバンテージがあれば、とかなんとかそういうことは、何かお気づきの点はございますでしょうか。
-----------	--

委員	サイクリングという点ではですね。皆さんご存じかどうかは分かりませんが、以前に孝霊山の前の方にN T Tの鉄塔が立ってましたよね。あそこの所がN T Tが鉄塔を撤去しまして今空き地になってます。確か大山町に買ってくれんかっていう話があったように聞いておりますけれども、あそこからの眺めっていうのは非常に良くてですね、今ちょうど大山町が持っておられる電動自転車、あれなんかで上がればそこそこの人だったら十分にあそこが 570m ぐらいですか。結構いい見晴らしもあって、その見晴らしもいい所であの高麗財産区の山になるんですけども途中の所からパラグライダーを飛ばそうとって誰かがその施設を作ったら、そこの管理者がやめてくれと言って撤去させたっていうような話もあって。非常に面白くていい所なんです。近くに高压電線がなくなって非常にやりやすいんだっていう話で。私は知らないから分からないですよ、そういう様な話もちんちん聞いたりして。なかなかあの辺の、長田の上の方の山はそれなりに面白いところだと思うんです。水道が通ってるかどうかは分かりません。それなんかが利用できるようになれば色々と相互的に遊べる所ができるかなっていう風に思いました。サイクリングと合致するのかなという思いはします。以上です。
委員	はい。途中までの僕の方の意見として。僕はちょっとハブっていうのは…それはそれですごくいい、海側に足を伸ばすためのハブとしてはすごくいい、場所としてはいいんじゃないかと思います。大山町に限らず淀江とか。なんですけども、大山町に重要なのは目的地になる場所の方が重要じゃないかというのが僕の考えです。っていうのもハブっていうのはそこに人がいっぱい集まって、そこから分散していくという考え方だと思うんですけども、大山町のハブというのは大山なんじゃないかなというのが。圧倒的に大山を皆さん目掛けてやっぱり来てて、そこから他の場所に行かない方が実は問題で。大山とかに足を運んでもらうためのハブを今作る必要があるのかなと言うところでいったら、大山の上の方にはない魅力をもう一個下の方に持つっていう。そういう意味ではさっき言った肉とか食べ物、食の方が何か重要なんじゃないか。そこに新しく人が来てもらうことで、大山に訪れた人たちがまたこの下の方に落ちてきてそこに来るっていう動線が作れるのかなっていう。もちろん維持費とかの問題はあると思うんですが、食系だったら町が建物作らなくても民間がそこに整備だけしちやえば、民間がレストラン作るのと同じ感覚で、民間の出資で作れるんじゃないかというのをちょっと思ったりもしました。別にそこにハブ機能を持たせて、色々ローカルな方に誘導していくっていうのがすごく一ついいのかなと思ってます。で、もう一個だけちょっと考えなくちゃいけないのが、僕も大阪なので大阪の方から来るんですけど、大阪から大山にナビとか入れるとですね、伯耆町で下ろされるんですよ。そんなにこの大山町の方回って大山行く人多分あんまり少ないと思う、少なくとも米子なのか伯耆町なのか江府町なのかあの辺りで下りていくっていう。だから人の流れが一番多いところからわざ

	わざここまで来て、ここで車を止めてトイレ休憩して上の方に行くかって言われると、どういう人たちがそこに来るのかなみたいな。ひょっとしたらこの辺の琴浦や大山町の人感覚はすごくいい場所かなと思うんですけども、広島松江大阪とか考えた時に、あの立地って本当にそのゲートウェイとしての機能が果たせる場所なのか、そこはちょっと分かんないですけど。そんなことを思いました。
委員	ただ私が思ったのは、例えば鳥取の所から上がってくる、あるいはもっと向こうも繋がりそうになりますよね、鳥取より先の方に。あっちの方向から山陰ぐると観光っていうルートもあり得ると思うんですね、その場合は伯耆町行きませんので、ここの前の道通りますから。どっち目線をより重要視するっていうかの目線じゃないのかなという風にですね、今のお話は。ですから例えば関西辺りから大山方向に向かって行くって、いきなり大山を中心に考えるのではなくって普通一般の観光者ってなると、どうなんでしょう例えば今回のゴールデンウィークはぐるっと山陰ってことになると鳥取辺りから鳥取砂丘回って一泊真ん中辺でして、ついでにじゃないですけどやっぱり出雲大社辺りまで行くか、みたいなルートにされる方が多いんじゃないのかなと。っていう場合まさに米子というか鳥取と出雲の中間あたりっていうのが位置的に悪くないのかなという風にも思いはします。
会長	色々な意見が出てまして、例によって収斂はしてませんが。あと時間配分の都合上次のテーマを少し、既にそこの所は入ってるところはありますけれども、次のアウトプットはどんな施設でコンセプトを実現させるかというのが、シナリオ上続きますことになっておりますんで。ちょっとそこをそういう形で議論をしていきたいと思っておりますけども、じゃあ事務局の補助の方でお願いします。
事務局補助	はい。そうしますと、次のアウトプットを考えるというところに入らせていただきます。どんな施設でコンセプトを実現させるかという話になります。具体的にはどんな施設を導入するか、というところでございます。今、大きな箱ものはいらないと、小さなものでいいんじゃないか、そういうお話もございました。今現在人材不足とか財源負担の軽減とか、色々な問題があるので、民間さんとの連携でやっていくという意見もございます。その中で具体例といたしまして、ちょっと案でございますけども、4つほど書かせていただきました。1つは大山ブランドの飲食店、これは民間さんとの連携で作るもので、テイクアウトをしてそれを持ちながら各観光地にピクニックに行くというようなものでございます。いわゆるハブ的な考えにもなってくるのかなというところがございます。次の具体例でございますけども、レンタサイクル、メンテナンス、休憩、宿泊ができるサイクリングセンター、これも民間さんとの連携で設置するというところがございます。続きまして、安く泊まってということもございま

	した。R Vパーク施設を設置し滞在型観光に対応というものでございます。具体的にR Vパークと言いますのは、ご存じの方もいらっしゃると思いますけど、駐車場に車で寝泊まりするというものでございまして、それを補足する上で、電気とか水とかそういうものを供給するという施設をちょっと置くというイメージでございます。続きまして、昨今のキーワードから行きますと、脱炭素というのがございます。再生エネルギーを活用した燃料スタンドを設置ということも必要になってきようかと思えます。これは具体的な例として挙げさせていただいたところでございますが、一つに限らずこういうものを複合的に置いていったらどうだろうというところでご紹介をさせていただきました。本来ならばこういうコンセプトでいこうという中で、次に、ではこういう出店を考えたらどうだろうという意味合いで作ったものでございますけども、話の中で今の具体例なところまでやや踏み込んだ会話がございましたので、紹介させていただいたところでございます。以上です。
事務局（進行役）	これも事前に資料を作らせていただいたんですが、第1回目の色々な意見を踏まえながら何ができるのかこれができるのか具体的にどういうことができるのかというのをちょっと知恵を絞ったところではありますが、先ほどの議論の中でも色々具体の話があったと思います。それを踏まえまして、もう一回具体的に、コンセプト色々決まってないとか定まってないところではあるかと思いますが、皆様の委員さんですね、具体的にどういうことができるのかなというようなアイデアがございましたら、ご教授ご意見いただけたらと思います。既にいただいているとは思いますがお願いしたいと思います。まだコンセプト決まってないんですが、それはそれとして、今どういうことができるのかなというようなことを、民間主導でも結構ですし、行政が全部やる必要はないと思いますし、様々なご意見があるかと思いますが。本当に具体的なことアイデアがありましたらお願いしたいと思います。 ではこれも、反対の方から…B委員からよろしいでしょうか。
委員	そうですね。今本当に今まさに議論している、そのことが今そのどんなことをやるかということを議論していると思うので、なかなかごめんなさい、難しいですね。
事務局（進行役）	はい、意見がなくてもいいんですけど、難しいと思いますんで。
委員	えっと、すごく難しいところで、あれだけの土地があればはっきり言って何でもできます。何でもできる、ただお金を掛ける掛けないたくさん掛ける、維持はちゃんとしていく、そこら辺のところまでどこまで町がするのか、税金を落とすのかっていうところまでは分かんないですけども、民間の事業者も、じゃああそこに果たして来るのかどうかもよく分からないですけども。何でもできるというところで私は頭には何も浮かびませんので、次はE委員に…

委員	ちょっと私もまあ考えたんですけど、これといったところが出てこないというのが。もうちょっと何か方向性が決まれば色々こう枝分かれにして考えていくのかなと思います。すいません、今のところはまだちょっとないです、すみません。
委員	えー、バトンが渡されました。最初の話で平日と休日という話が非常にこの場合は判断できるポイントになるのかなと。あと休日のターゲットは誰で平日のターゲットは誰で、どういったものを目指していくのかなというところが、どんな施設であるとか、店舗であれば例えば土日旅行客をターゲットにするのであればそういった土日だけ営業するような飲食でもいいかもしれませんし、あと平日であればキャンプ用カーで来られるリタイヤされた方たちとか。あと山陰道ですね、鳥取道経由してこのルートを通ってこられる方っていうのはやっぱり高速にお金をかけたくない方で、時間がある方、そういった方をターゲットにするのであれば、それこそ電源があって食材があって自分たちで料理するっていうような食材提供の方がいいかもしれませんし、そういった使い分けを瞬時、平日と休日でもいいのかないかなという風に、ちょっと思ったところです。
委員	えっと、そうですね。さっき〇〇委員が言われたように食関係だったら底地だけ準備すれば、誘致と言いますか、来てくれる事業者さんもあるかもしれませんし、町で準備する部分、税金をかける部分は小さめに、何かこれは税金導入しないと成り立たないような業種には税金をかけて、ちっちゃい建屋でも何でも準備して、それ以外であればコンセプトを明確にして、そのコンセプトに沿った事業者を募集するみたいなのところかなって、ちょっとふんわりと思いました。以上です。
委員	私はじゃあキャンプに行こうとして、この4つのどれを選んでいくかなと思ったら、飲食店、テイクアウトしてピクニックに行くっていうのは、ピクニックには行かないですね、この場で食べます。これを持って行ってどこかに行こうという気にはならないですね。その場所が良くて、桜が咲いてるとか色んな見どころがあるんだったらそこで食べた方がいいかなと思います。で、サイクルはあった方がうれしいかな。どうしても車で行って車置いて、そこに自転車がなくて、自転車でブラブラっとしたいなと。四国行った時なんかしまなみ自転車乗りたいと思ったけどもう予約いっぱい無理でしたっていうことだったので、そういう風な形でじゃあちょっと海に行ってみようか山に行ってみようかじゃあ先ほども話が合ったようにハンググライダーがあるんだたらそこ行ってみようか、車置いといてそこで自転車で色んな所に行けるっていうのはいいかなと思います。で、メンテナンスはこれ必要かもしれないです。休憩はどうかならないかな。宿泊も別に車で行ったんだたらいらないかなと思い

委員	ます。R Vパークっていうのはキャンプのオートキャンプみたいな形だと思いますんで、これとバンガローが2棟3棟あればもうそれで十分なのかなという風に思います。で、再生エネルギー。私全然疎いんでこの辺ないんですけど、ガソリンスタンドが1個あればいいのかなというぐらいしか思ってないです。以上です。 先ほど言われてました、何を、というか利用者として想定するターゲットですね、何回か言葉に出てました平日とそれから休日、休日も例えば単発である休日と連休とではやっぱりちょっと対応が違ってくるのかなという風にも思いますが、そういったものを例えばどこを目指すのか。お話があったように休日なら休日帯に特化したような、そこを集中的に攻める場所にするのか、年がら年中やってます的なものを目指すのか。それから年がら年中ってことになると、平日に遠方の方から多数の方が来られるということはまず考えにくいのでやっぱり近在、大山町なら大山町、米子市なら米子市の方辺りがターゲットになってくるわけだろうと思いますが、そういった方をターゲットにする時には、何を目立たせたらいいのか。やっぱり今度観光なら観光で来られる方とはやっぱりちょっと目線が違ってくると思いますので、何を目立たせたらちょっと行ってみようかという気になるのか、っていう辺りをやっぱり精査してから考えた方がいいのかなという風に思いました。以上です。
委員	私はどっちかっていうと防災施設の方に重点を置いてこの設備を作っていったらいいのかなという風に思いました。いわゆるヘリポートであるとか、貯水池であるとかそういったものを作る、その下に駐車場でも設ける、といったような形の設備を、非常に安く作っちゃって、あまりお金をかけないで、それほど後々の継続的なメンテナンスもいらぬような設備を作っておけば、あとでどうにかなるような気がするんですけどね。あんまりきれいな話ではないんですけど。やはりそういったものがあの辺にあった方がいいんじゃないかなという思いがしました。特に淀江っていうのは津波が来たらほぼ全滅する地域ですからね。まあ防災施設としていらぬのかどうなのか知りませんが。今の山陰道なら概ね中海の津波は対応できるんじゃないかなと思っています。そういった観点からすれば、防災施設として基本は整備して、その余った所を他の地域振興の何らかに、施設的なものは作らなくて、更地みたいな形の公園化しといて、そこにイベントの時には民間の事業者さんがキッチンカーなり何なりで来るような施設を作った方が安上がりなんじゃないかと思いました。以上です。
委員	僕もG委員とかおっしゃってたみたいに、めちゃくちゃ安く泊まれるというのもすごく魅力的だなと思います。大山って旅館とか割とその滞在に結構お金がかかってしまうっていうこともあるんで、確かにそのR Vパークとか車で来てそこで寝泊まりできる安い、ただでも泊まれるスペースがあるっていうのは、すごくそれはそれでいいなと思ってます。なのでどっちか一つに絞るっていう

	よりも、2つの視点があってもいいのかなと思ってて、敷地の半分はそういうイベントとかに使ったり、割と臨機応変に使える芝生の何ですかね、アウトドアパークみたいなのがこっち側にはあって、半分か3分の1か分からないですけど、そこはフードテーマパークみたいな、何かあったらどうなのかなとは思ってます。複合、融合型って言うんですかね。僕も牛の駅一筋ですけど、イメージとして共有できたらと思うんですけど、いっぱいあるんですよ、牛骨ラーメン、焼肉、ステーキ屋さん、鉄板焼きのお店、しゃぶしゃぶ、でその物販とバーベキースペース、鳥取の和牛をそこで買って食べる、みたいなって結構僕の感覚では、肉は単価も高いですしお金いっぱい使ってくれるし、意外にないなっていうところでは。ちょっと何となく僕の感覚ですけどね、客来るなっていう。なので一つに絞らなくても色々な機能を持ったっていうところで、フェスとかマルシェとかそういうのやれるのはすごく場所もいいですし面白いと思いますし。夜は車駐めて寝てもいいんだとか、そういうのあるのは確かにすごい今まで来ない層も大山来てくれるなって意味ではいいんじゃないかなと思います。どれかに選択せずによく取り入れた感じの場所が出来たらすごくいいんじゃないかなと思いました。以上です。
会長	ありがとうございます。安く泊まれるところがバーンとできると、他の大山寺の旅館とかその辺の立場どうなんでしょうかね、観光課的にはどういう、宿泊施設はどんなイメージありますか？
事務局（進行役）	はい。多分、ぱっと思いついたところですけど、大山に泊まれるお客様はそれなりにお金を持っておられる方というか、客層が違うというか。多分違うんじゃないかなと。しっかり払われる方は払われるでしょうし、違うことを求められている方は求められているんじゃないかなといったところではあります。
委員	ちなみにそこそこじゃない方にも私泊まりますんで。キャンプ場だけじゃありませんので大丈夫だと思います。
委員	多分旅館街とかペンション街とは客層が違うと思います。
委員	でしたら防災っていうところで、何か施設があるんですか。防災にも。広場があったら何か防災にも使えるっていうことになるんですかね。
委員	先ほどのところで、板野町の例が出ていたところだけ見ると、対して施設はいらないような。
会長	何か、資料をまとめていただいて。
事務局（進行役）	はい。防災についてですが、資料の方で、道の駅いたのって四国にあるんです

	が、議員さんも視察に行かれたと伺っておりますが。
会長	その他防災道の駅で3つくらい。
事務局（進行役）	防災って結構国の補助金が貰えたりするので、道の駅と併せてそれで作られているところがありまして。ヘリポートでしたり、半分なんで大したことないかもしれませんが、半分補助が出るというのがありますので。色々なことが考えられると思います。備蓄倉庫だったり避難所だったりヘリポートっていうのは、あるかと思います。あと、貯水槽も地下タンクみたいな、水がずっと溜めておけるとか、そういう様な防災機能もあるような施設もあります。
委員	油は、結構あれですよ。定期的に検査しないといけませんよね。油関係だと。
事務局（進行役）	地下タンクの油でしたら定期的に必要ですけど、水でしたら大丈夫じゃないですかね。
委員	防災ヘリが今大山町だと仁王堂公園に来るんですよ。そうすると必ず宮内地内で事件事故がありましたっていう風に。うち宮内なんで必ずうちの家に電話掛かって、連絡あるんですけど、その拠点が移ってくれると非常にありがたいかなと思います。
事務局（進行役）	ヘリポートは鳥取県さんが決められるので…
委員	あっちの方がいいような気はしますよ。
事務局（進行役）	大山町と鳥取県さんで確か合わせて決めてると思いますのでその辺も。
委員	元の高麗小学校のグラウンドに止めるとか。
事務局（進行役）	緊急時でしたらある程度の広さがあればどこでも止めれるとは思いますが。
委員	結構考えなくちゃいけないと思ってるんですけど、どうしてもこうアイデアとかって新しいものを言う場になってしまうんですけど、それ自分もちょっと自戒も込めてたんですけど、古くならないものを作るっていう。だから新しいものを作るんじゃなくて、古くならないものを作るっていう考えの中には、やっぱり何ですかね、防災とか古くならないですよ多分。で、昔から続いている伝統的なものを活かしたものっていうのはなかなかこの先もそうそう古くならないだろうとか、そういうことを考えた時に、地域にいる人たちの生活もやっぱりちょっと関係してくるものっていう視点は、もう言い出すと色んなものが

	組み合わせさっちゃって大変にはなと思うんですけど、どこかベースにはやっぱり地域の人にとってもできて良かったねっていう要素はやっぱりそこは結構考えていかなくちや、箱だけ儲かって箱だけ賑わつとるでっていうのはまた色々ややこしくなるかなってというところもあると思います。
委員	うまいこといったとしてですけど。「何か賑わってるけど、あれ全部他所から来た人たちなんだよね」なんて悪口を時より、鬼太郎ロード辺りの話が出たりすると聞こえてきたりもしますが。あんまりそういう悪口が出ないように、何かしらやる時に市場の方をうまいこと引きずり込んでできるようなことができたらいいなという風に今お話を聞きながら思いました。以上です。
事務局（進行役）	その他、たくさんご意見いただきましたが。
会長	もうちょっと拾っておきたいなと思うのが、その地域の人に関わりということでは、あそこだと地域としてどの辺りまでスコープに入れて、具体的に何がありそうと思いますかね。大山町だけに限らずに淀江まで多分視野に入れた方がいいんだと思いますけど。
委員	すぐ近くに入浴施設がありますんで、あそこに車止めてどうこうってなったら風呂行くぞ、なんてなるでしょう。サイクリングして汗かいた、帰りに風呂寄って帰るかみたいなのは、なと思います。もしそんなのができると。あとは、むきばんだの公園もすぐ近所ですし。あの辺は、妻木晩田、県ですよ。だから何かしらの連携が取れるのかなという風には思います。すぐ近所っていうことでは思いつくのは今のところは。
委員	僕もいいですか。その地域っていうところで、地域の人が利用するっていうことも、利用者としての地域の人もあると思うんですけど。やっぱり地域の人が望んでいるのは儲かるとか潤うっていう、そこは雇用とか仕事づくりとかあると思うんですけど。さっき僕が平日休日って言ったのは、実は大山町に移住してくる人の多くは自然に憧れてやって来たりして、この町が好きになってくるんですけど。実は大山町って観光で食っていけないっていうのが結構問題かなと、色んなガイドさんとかからも聞いてて。だからそういう意味では何かその、新しい仕事を持てるというか、そういうところで一年を通じてそこでお金を得られる仕組みづくりができれば、すべての地域の人たちがそこに関わってなくても喜ぶ人たちは多いかなと思います。
委員	さっきの話じゃないですけど、まあ私も還暦近くなって、雇ってもらえるんじゃないかっていうのも考えてました。第二の人生、ここでキャンプ場の管理人で草むしりでもして伸び伸び過ごせたらなんてこともちょっと考えてもおりま

	した。本当にあの、そういう様な形で、これで何十人何百人っていうのは無理な話なんですけれども、ここを管理する人が、給料分からないですけども、それで多少でも雇用ができる。色々考えることは今ラスパルで農家の人なんかは出されておられるんですけども、ここに拠点ができればちょっと近くなってここで野菜とかが売れたらガソリン代も若干でも浮いて、本当週末だけでいいと思うんですよね、そういう様な形で商売でもできれば、地域の人なんかも多少でも日銭が入るっていう風な形で、本当このメンバーないしその一味が儲かって良かったよねじゃあいけないと思うんですよ。やっぱり住民のみんなが「よう頑張っってええこととしてごしなった」言ってもらえるような事業を考えていかないと、本当先ほどもあったように特定の人だけが儲かって、大山町には一切関係ない人がどんどんどんどん儲かって肥えていって、地域の人全然肥えていけないっていうのはやっぱりちょっとそこは面白くないんで、県外の人もたくさん儲けてほしいですけど、県外とかね米子市の人でもどんどん出してもらって儲かってほしいですけども、できれば私たちはその大山町の方が少しでも、ここで色んな形で商売ができればいいかなっていう風には思います。
事務局（進行役）	ありがとうございました。たくさんご意見いただきまして、まとめるのが大変かとは思いますが。面積広いですので色々なご意見を併記しといても、それは問題ではないのかなという感じも受けました。それを、最終的な提言というものに繋げていけたらいいんじゃないかなと。今ご意見を伺った時に思いました。
会長	この資料を色々整理していただいた補助の方では特に何か、これは言つときたいみたいなことはございますか。
事務局（進行役）	参考資料ですね、たくさん用意していただいて、今までの議論を踏まえてここだけは、というのがありましたら。
事務局補助	どうしても事例等を調べますと、道の駅というキーワードにたどり着いてしまうというのが事実です。で、道の駅以外のもので、集客できるようなもの。これまでの話の中を振り返ってみて、何かないのかなって探しても最終的には道の駅のようなもの、にたどり着いてしまうというのが事実でございました。ただ、今近くに道の駅があるので、競合するようなものがあったとしてもというお話もありました。ですので、非常に難しいなというところでもございますが、特に道の駅には拘らなくても、今お話がありましたように、キーワードたくさんあります。どれか一つに絞る必要もないと思うんです。どれもこれもできるような場所、要は土地さえあれば何とかなるのかなという観点でも考えたらどうかなという風に。絶対これを作らないといけないではなくて、あれもできるこれもできるオープン的なスペースっていうやり方もあるのかなという風に考えました。以上でございます。

委員	あの今事務局補助の方で、道の駅にたどり着くということをおっしゃってましたけども、私見てて特に道の駅にたどり着くっていうことはないんですよね。何か補助の方は道の駅を作りたいのかなってイメージがしてきたんですけども、そうじゃなくてももっと広い意味で見られた方がいいんじゃないかなと私は思います。以上です。
事務局補助	すみませんでした。
委員	電気ガス水道があればあと何でもできます。もうだいたいこれがあれば。排水と。
委員	すみません度々。どちらにしてもですね、今の時代なんて言うんですか、先ほど私、一番最初にD Xってなんですかって聞きました。情報化社会ですので、色々な意味で情報を発信する場では何かしらコマーシャルをしていかないといけないのかなという風にも思いますが、例えば、そんなに大きな建物じゃなくてもいいんですけども、あるいは何かしら建物を建てた時に、どうしても誰か番ついていないといけない、何人か人がいるんじゃないのかなと思うんですけど、そのためにある程度人が常駐できると言いますか、雨風がしのげる建物があるんじゃないかなと思いますが、そういった建物小さいやつを何棟か建てまして、やっぱり地方ではありますが、一つ事業を起こしてどうこう思われてる若い人もいらっしゃるわけで、そういった方が入って来られるような、コワーキングスペースって言うんですか、小さい一間二間三畳四畳ぐらいの事務所でもいいんですけども、そんなのを何個か建ちながらお客さんが来たらその方の番をしてください、その代わり安く入居できますよ的な、そんなようなことも考えてもいいのかなと、最後に一つだけ言わしてもらって。という風な思いも持ちながらお話を聞いてました。そういった方々を巻き込んでコマーシャルしましょうとか、ここをもうちょっと活性化しましょうとか、そんなようなことに使える施設でもあってもいいのかなという風な気持ちを持ちました。以上です。
会長	コワーキングスペースっていうワードでまとめて次の議論に振ってしまいそうになりますけれども、時間内に終わらない心配もありますので。今日は色々カバーしてお話をしていただきまして、何らかのまとめ方があるのかなというちょっとイメージが少し沸いて来つつあるところでございます。時間も限りはありますので今日の議論はここで一旦終わりにさせていただいて、あと今後のスケジュールの説明を事務局の方からさせていただいて閉めたいと思います。
事務局（進行役）	はい。今後のスケジュールといたしまして、第3回ということで予定をしておりますが。何とか今日頂いた意見を踏まえまして、利用計画概要や提言書素案

	を頑張って作りたいと思います。なかなか多分に渡りましたのでちょっとお時間いただけたらと思いますが、それを作って次回委員会をさせていただきたいと思います。以上がスケジュールとなっております。
会長	次回が、えー。
事務局（進行役）	次回、またご案内させていただけたらと思います。ちょっと、時間を頂けたらなど。
会長	7月予定ということで。
事務局（進行役）	7月にしたいとは思いますが。
会長	またあの、次回までに何かご意見等ありましたら事務局の方にお寄せいただけたらと思います。次回は、今日の話を整理したもので、こういう提言案にしようというような議論をしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。
事務局（進行役）	4. 閉会 それでは、以上を持ちまして本日の委員会を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。